

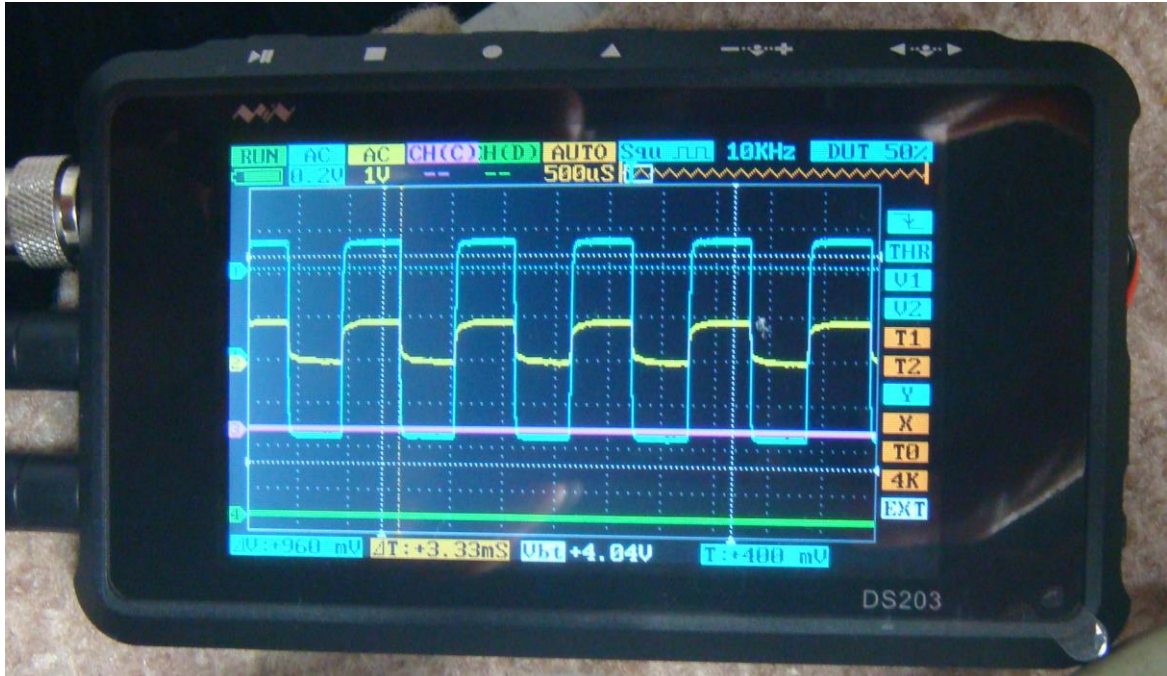
**DSO203: チューニング/校正時のスナップ写真**

初期状態はV軸(電圧)おおまかに設定され、H軸(時間)は元のクロックでズレは少ない  
高速時間では、ノン・リニアリになる場合もあり  
V軸: 高精度の定電圧ソースがあれば個人的にも作業可能(こまかな作業)



DSO203: Test & Cal snap @ktek calilab@2016

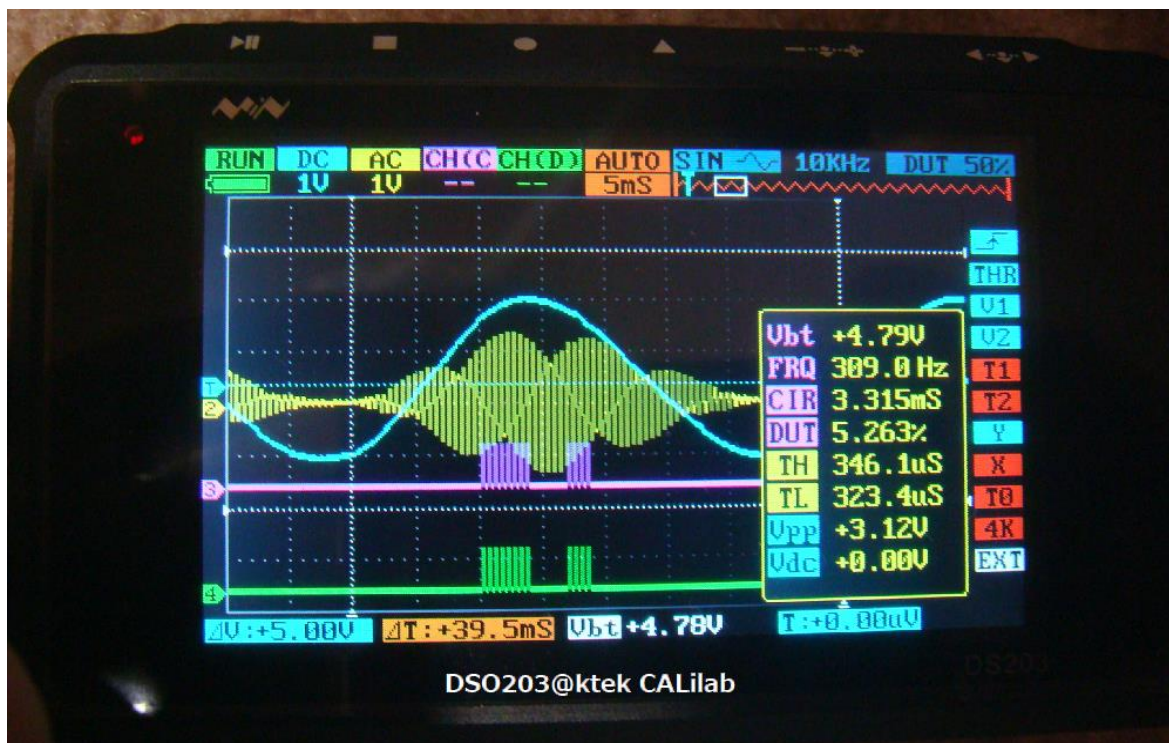
輸入時: Ch A、Bともプローブ位相調整ができていない(黄:丸まっている)  
 Ch A(青):コンペーンションアジャスト後(立ち上がりの切れが良い=高周波までOK)



輸入時: Ch A、Bとも電圧感度がズレ大で要調整  
 実電圧を各ATTENに与えて、Gain cellに記憶 => V/divをゼロ%に設定



A & B アナログチャンネル(青、黄)\*モジュレーション波形  
 C & D デジタルチャンネル(紫、緑)TTL H&L レベルクリッピング



Ch A B 振幅、パルス、カーソル値の一致

